

もり りんやちよう
〈森林でのお仕事紹介コーナー（農林水産省林野庁）〉

一般的に安曇平と呼ばれるこの地域は、北アルプス連峰の雄大な山々を源とする一級河川が数多く流れ、日本三大扇状地である神戸原扇状地が美しく広がる緑豊かな土地です。



北アルプスの山々

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。

シリーズ
「森林官からの便り」

中信署 松川森林事務所

森林官 吉村 暁美

松川森林事務所は、長野県北西部に位置する松川村馬羅尾国有林と、安曇野市中房、常念、唐沢国有林、約七、五〇〇haを管轄しています。

日本最大規模の「大王わさび農場」と共に米処としても有名な安曇野は湧水が多く水処でもあります。湧水が多いということは扇状地の特徴でもあります。水の源である北アルプスや安曇野富士と称される有明山等からなる国有林があればこそだと言えます。

安曇野市内の国有林はコメツガを主体とした天然林が九割を占めています。人工林はカラマツやスギ、ヒノキの造林地です。ここ数年、植栽したヒノキのニホンジカによる食害が目立つようになり、昨年度からセンサーカメラによりニホンジカの動向を調査することにしました。また、少数ですが松くい虫被害もあり、国有林内や隣接の民有地に蔓延しないよう、伐倒燻蒸処理を行っています。

松川村内の馬羅尾国有林には、「あがりこサワラ」という珍しいサワラの巨木群があります。「あがりこ」とは東北地方の方言で、萌芽して育った樹木のことを指します。

サワラは広葉樹に比べ、萌芽力が弱いのですが、台切した後側



平田美紗子：画

枝を直立に生長させることで肥大化し、奇怪な樹型を形成します。

この貴重なあがりこサワラの巨木群約七haは松川村と協定を結び保護林（郷土の森）とし、村のシンボルとして保護管理してきました。が、保護林制度の見直しに伴い、国民参加の森づくり制度による「多様な活動の森」として、松川村と昨年度三月に協定を締結しました。

森林内において、自然観察会等の森林保全活動が円滑に実施され、地域に寄与する積極的な活用が図られていくよう、心掛けてい

ていきたいと思っています。
■未来の担い手へのメッセージ
 私は高校林業科入学から三十二年余り林業に携わってきました。森林作りは人作りが私のモットーです。3Kと呼ばれる仕事ですが、世代を経て繋がる大変意義のある仕事だと思っています。若人よ来たれ林業へ！



保育園児に森林教室を行なう筆者

す。最後に

最後になります。この松川森林事務所は、私にとつて四箇所目の森林事務所森林官で、今までで最も長い任地になっています。今後とも地域に根ざし、地域との絆となるべく働きかけ

もり
<森林でのお仕事紹介コーナー（森林・林業）>

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、「頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。」

シリーズ

「森林・林業界からの便り」



南ひだ森林組合

内木 稔

(二〇一五年入社)



林業用器械の前でハイポーズ(内木さん)

■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事業

(保育間伐活用型)

大洞4)

発注者：岐阜森林管理署

地球温暖化防止策をはじめ森林の公益的機能の高度発揮のため、育成しようとしている樹木の一部を伐採して林分密度を調整する保育間伐と、資源の有効活用等を図るため、伐採木を造材し、作業ポイントまで搬出、集積する一連の事業です。

事業地は下呂市小坂町落合国有林の八十一〜百三年生のヒノキ人工林二五・〇五ヘクタール(素材生産量一、九〇〇立方メートル)で、一部百年生を超える林分は、天然力の活用により広葉樹等を導入して針広混交林等へ誘導することを目的とする育成受光伐を実施するなど多様な森林の整備を行っています。

■現場での役割・魅力

高性能林業機械を利用した搬出間伐を中心に、班の中で生産性を高めながら、森林所有者に喜んでもらえる山づくりや、森林整備の作業を通じて環境に貢献できる仕事にやりがいを感じています。

(※高性能林業機械…従来のチェーンソーや刈払機等の機械に比べて、作業の効率化、身体への負担の軽減等、性能が著しく高い

林業機械です)



高性能林業機械(ハーベスター)での伐木造材



木材搬出の様子

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

高校卒業後、愛知県名古屋市中で設備工事会社などで働いた後、自営で設備会社を営んでいました

が、家族と共に地元の下呂市萩原町へ帰って自然の中で体を動かせる仕事がしたいと考えて森林組合の森林技術者を選択しました。

■未来の担い手へのメッセージ

南ひだ森林組合には、森林整備班一班(六名)と林産班四班(二十名)があり、林産班は各四機(計十六機)の高性能林業機械を駆使して搬出間伐等の事業を行っています。

二十歳代の若い仲間も多く、平均年齢も四十五歳です。お互い話しやすい環境で仕事に取り組み中で、若くとも努力が評価してもらえる職場だと思います。



林業器械(フォワーダー)で木材運搬中の内木さん

もり 〈森林でのお仕事紹介コーナー（林業土木）〉

受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ
「林業土木業界からの便り」

株式会社 笠原建設

中村 キヨ子
(一九九三年入社)



中村 キヨ子さん

■事業の概要

請負工事・蒲原沢復旧治山工事
発注者・中信森林管理署

蒲原沢下流部右岸側は、過去に発生した土石流による大規模崩壊地の植生復元を図るための復旧治

山工事です。

当工事は崩壊地上部の不安定な斜面を対象に施工した法面に厚層基材吹付けを行い、下部は長大斜面の安定を図るため、のり切工を実施しました。長大斜面ののり切工は、風化の進んだ不安定な地盤が施工対象であったため、作業の安全を確保するためロッククライミングマシンによる無人化施工に行いました。

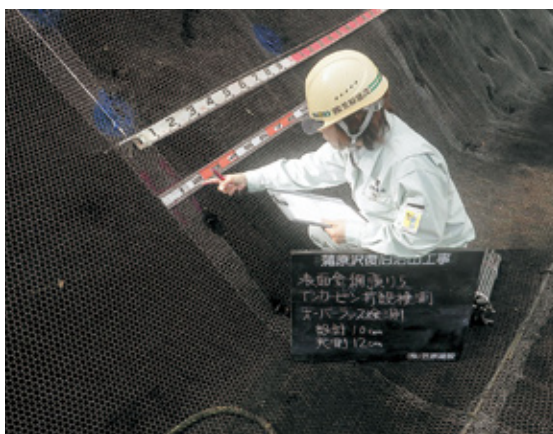


蒲原沢復旧治山工事箇所

■現場での役割・魅力

私は現場代理人兼、監理技術者として工事全体の施工管理を行いました。

現場の魅力は地域の人や協力業者の人等、沢山の出会いがあることと、季節の移り変わりの美しい景色の中で作業を行い工事が無事に完成した時の達成感を味わえることです。



施工工事の品質管理

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

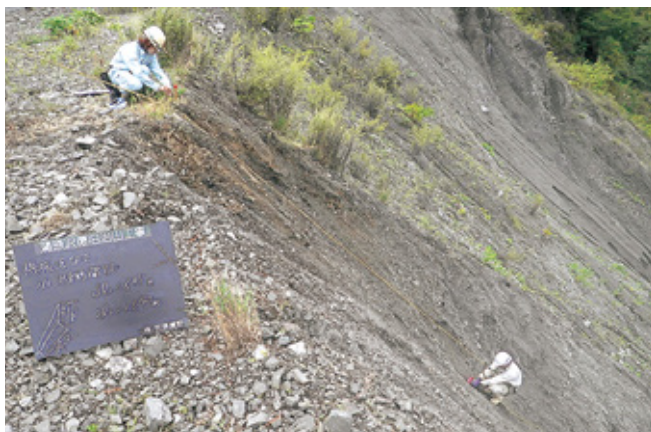
私は入社時、主任技術者の書類や現場の測量の手伝いをする等、補助的な仕事を行っていました。が、図面に記載されている構造物が日々出来上がっていく様子や完成した構造物を見ていく中で、「私も手伝いではなく、初めから工事に携わってみたい。あの達成

感を味わってみたい」と思うようになったのがきっかけです。

■未来の担い手へのメッセージ

建設業は高齢化や人手不足等の問題を抱えており、今こそ若い人材が必要だと感じています。現場環境も快適トイレや設備の充実した休憩所の設置等で大幅に改善され、今では我社にも女性土木技術者が六名在籍し、日々現場で活躍しています。

今後の建設業を担うべく、若い力で活性化させることを期待します。



出来形確認中